

# ウズベキスタン共和国概要

2021年11月  
(一社)ロシアNIS貿易会

## 1. 基本情報

(1) 地勢：旧ソ連中央アジアの中央部に位置し、北部および西部国境をカザフスタン、南にトルクメニスタンとアフガニスタン、東にタジキスタン、キルギスと国境を接する。



(2) 面積：44万7,400km<sup>2</sup> (日本の約1.2倍)

(3) 人口：3,455万人 (2021年初)

(4) 首都：タシケント市 (269万人)

(5) 主要都市：ナマンガン (64万人)、サマルカンド (55万人)、アンディジャン (36万人)、ヌクス (31万人)、フェルガナ (29万人)、ブハラ (28万人)。\*数字は各州・自治共和国政府公表に拠る。



(6) 民族：ウズベク人 84.4%、タジク人 4.9%、カザフ人 2.4%、カラカルパク人 2.2%、ロシア人 2.1%、その他 4.1% (2021年初、ウズベキスタン統計国家委員会)

(7) 言語：公用語はウズベク語。またロシア語も広範に使用されている。

(8) 宗教：イスラム教 (主にスンニ派)

## 2. 政治情勢

### (1) 略史

現在のウズベキスタンの領域にはサマルカンド、ブハラ、ヒヴァ、コーカンドなど、古来、東西交易の要衝として栄えた都市が数多く存在する。19世紀後半、同地域を支配下に置いたロシア帝国はタシケントにトルキスタン総督府を設立、綿花栽培を中心とする植民地経営を行った。革命後の1924年、ソ連中央が行った中央アジア民族境界画定によりウズベク・ソヴィエト社会主義共和国が連邦構成共和国として設立された。1980年代後半に始まるソ連解体の過程の中でウズベキスタンは1990年6月に共和国主権宣言、翌1991年、モスクワのクーデター未遂事件直後の8月31日に独立宣言を行い、国名を現行のものに改めた。1991年末のソ連崩壊を経て実質的な独立国となる。

### (2) 独立後

初代大統領のカリモフ大統領は、1991年の独立以来25年間、強力な指導力を持って政治・経済両面にわたりCIS諸国では異例の安定した強力な国家の指導体制を率いた。2016年9月カリモフ初代大統領の急逝後、同年12月に大統領選挙が行われ、ミルジヨエフ大統領が誕生した。現在、同大統領は政治、経済、社会、外交等の幅広い分野で改革路線を打ち出している。

### (3) 大統領

シャフカット・ミルジヨエフ大統領 (MIRZIYOYEV, Shavkat Miromonovich) : 1957年7月生 (63歳)。1981年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学卒業。1981

年からタシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学で勤務。研究員、教員、学部長などを歴任。コムソモール機関、党組織に勤務。1990～1996年タシケント灌漑・エンジニアリング・農業大学副学長。1990～1999年ウズベキスタン共和国最高会議代議員。1996～2001年9月ウズベキスタン共和国ジザク州知事（ホキム）（2000年1月再任）。1999～2004年代議員。2001年9月～2003年12月ウズベキスタン共和国サマルカンド州知事（ホキム）。2003年12月～2016年12月首相（2005年1月上下両院で承認されて再任。2010年1月下院で再任を承認。2015年1月下院で再任を承認）。2016年9～12月ウズベキスタン大統領代行。2016年12月4日の大統領選挙で勝利。2016年12月14日大統領就任式。2021年10月24日に実施された大統領選挙では80%近く得票し圧勝、二期目に突入した。

### 3. 経済状況

#### (1) 経済水準

(イ) GDP (2020年) : 577.1億ドル\*

(ロ) 国民1人当たりGDP (2020年) : 1,751ドル\*

(ハ) 1人あたり平均月額給与 (2020年) : 2,667.6千スム (約254ドル)\*\*

#### (2) 主要産業・輸出品

(イ) 主要産業 : 綿繊維産業、食料加工、機械製作、金、石油、天然ガス

(ロ) 主要輸出品 : 石油・ガス・石油製品、サービス、綿繊維、食料品、鉄・非鉄金属

(ハ) 主要輸入品 : 機械・設備、化学製品、食料品、鉄・非鉄金属、石油製品

#### (3) 経済指標 (前年比増減率、%)

ウズベキスタンの主要経済指標 (対前年同期比 %) \*\*

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
実質GDP増減率 (前年同期比、%)	7.3	6.9	7.2	5.9	4.4	5.4	5.7	1.7
鉱工業生産増減率 (前年同期比、%)	9.5	8.3	7.9	6.2	8.0	16.6	5.0	0.7*
農業生産増減率 (前年同期比、%)	6.6	6.3	6.1	6.3	1.0	0.2	3.3	2.8
固定資本投資増減率 (前年同期比、%)	11.3	9.8	9.4	4.1	19.4	29.9	38.1	▲ 4.4
商品小売販売高増減率 (前年同期比、%)	13.3	13.3	15.3	14.4	1.9	6.5	9.1	3.2
消費者物価指数 (前年12月比増減率、%)	6.8	6.1	5.6	5.7	14.4	14.3	15.2	11.1

◆データ出所 : \*世界銀行、\*\*ウズベキスタン統計国家委員会。

### 4. 対外関係

#### (1) 貿易\*

##### (イ) 貿易額

輸出 (2020年) : 151億230万ドル

輸入 (2020年) : 211億5,380万ドル

##### (ロ) 主要貿易国

輸出 (2020年) : ①中国 (12.8%)、②ロシア (9.8%)、③トルコ (6.7%)

輸入 (2020年) : ①中国 (21.3%)、②ロシア (19.7%)、③韓国 (9.9%)

## (2) 日本との関係

(イ) 日本は第1位(2015年)の援助支援国。2016年までの日本の累計援助額は、有償資金協力2,766億3,000万円、無償資金協力250億200万円、技術協力実績191億4,200万円。2019年12月にミルジヨエフ大統領が就任後初めて日本を訪日した際には、安倍総理大臣(当時)との首脳会談にてナヴォイ火力発電所近代化計画(フェーズ2)をはじめとした1,800億円超の円借款3案件が決定された。

### (ロ) 日本との貿易\*\*

日本の輸出(2020年)：1億4,128万ドル(輸送用機器、一般機械、電気機器等)

日本の輸入(2020年)：884万ドル(化学製品、非鉄金属、綿織物、食料品等)

### (ハ) 二国間条約\*\*\*

2004年8月 日・ウズベキスタン航空協定発効

2006年6月 日・ウズベキスタン技術協力協定発効

2009年9月 日・ウズベキスタン投資協定発効

2019年12月 日・ウズベキスタン税関相互支援協定発効

2020年10月 日・ウズベキスタン租税条約発効

(ニ) 在留邦人数(2019年10月現在)\*\*\*：138人

◆データ出所：\*ウズベキスタン統計国家委員会、\*\*日本国財務省貿易統計をもとにドル換算、\*\*\*日本国外務省。